

はじめに

この本は、環境問題を解決したい方々のための環境法の入門書です。

この本でとりあげた環境問題は、気候変動、オゾン層破壊、大気汚染、土壌汚染、海洋汚染、化学物質汚染、放射性物質汚染、廃棄物・資源循環、自然保護、生物多様性の保全などさまざまですが、これらの問題を扱う章はいずれも、はじめから環境法の説明に入るのではなく、まずは日本で生活している人々にとって身近な環境問題から入り、それぞれの問題状況を正確につかみ、身近な環境問題とのつながりに重きを置きながら環境法の説明に入っていくという流れで書かれています。個別・具体的な環境問題を扱うコラムも設けました。日々の暮らしや企業活動に関わる身近な環境問題と、国際的あるいは地球規模の空間的な広がりをもつ環境問題とのつながりについても、できるだけふれるようにしています。

環境法は、環境（人の健康・生命や生活、さらに野生動植物にとって望ましい環境）への過度な負荷を防止・低減することを目的とする法（日本の法令、条例、国際条約など）です。「環境問題に関心はあるけれど、環境法は難しそう」という方も多いと思いますが、この本はそのような方にお読みいただきたい本です。この本を通じて、環境問題の防止・改善・克服のためのツールのあくまでも1つ、しかし重要な1つである環境法の基本的で正確な知識を得て、問題解決のために環境法を大いに活かしていただきたいと思います。

日々の暮らしを大切にすること、できるところから行動に移していただくことが、空間的・時間的に広がりのある大きな社会的課題の解決につながります。

この本を読み終えたときに、環境法やその基礎にある環境政策の勉強をさらに進めたい・深めたい、環境をめぐる問題状況の防止・改善・克服のために何かしてみたいという気持ちが出てくること、この本が皆さんの勉強や行動のきっかけや支えとなることを願っています。

貴重な時間を割いて本書にご寄稿いただいた先生方、本書の企画段階から刊行までご担当いただいた法律文化社の舟木和久様、本文レイアウト・校正をご担当いただいた徳田真紀様、カバーデザインをご担当いただいた仁井谷伴子様、組版・印刷・製本をご担当いただいた共同印刷工業と新生製本の皆さま、カバー画の作者の鈴木冴基様（カバー画は海上保安庁・海上保安協会共催「2020年度 未来に残そう青い海 図画コンクール」の中学生の部の入選作）をはじめ、本書にたずさわった多くの方々に心より御礼を申し上げます。

2022年春、白金台にて

編者を代表して 鶴田 順